

特定の着信を拒否する

指定した電話番号や、発信者番号が通知されない相手（非通知、公衆電話、通知不可能の相手）、アドレス帳に登録していない相手からの着信を受けないように設定することができます。

1 4 3 ⇒ ロックNo.を入力 ⇒

2 設定する項目を選ぶ ⇒

表示される項目は機能によって異なります。

指定番号*	指定した電話番号からの着信を受けないように設定（最大20件） 1 「番号リスト」⇒ <input type="checkbox"/> 2 「直接入力」⇒ <input type="checkbox"/> >> 「アドレス帳引用」 / 「履歴引用」 / 「メモ帳引用」 / 「プロフィール引用」を選ぶと、本体に登録されている情報を引用して電話番号を設定することができます。 3 電話番号を入力 ⇒ <input type="checkbox"/> ⇒ <input type="checkbox"/> 完了 4 設定した電話番号から着信したときの動作を選ぶ ⇒ <input type="checkbox"/>
非通知*	発信者番号の通知がない着信を受けないように設定
公衆電話*	公衆電話からの着信を受けないように設定
通知不可能*	発信者番号の通知ができない相手からの着信を受けないように設定
アドレス帳登録外*	発信者番号の通知があり、アドレス帳に登録していない相手からの着信を受けないように設定
着信履歴保存	拒否した着信を着信履歴に保存する / しないを設定

* 「OFF」に設定すると、対象の着信を受けるようになります。

- ・着信拒否を設定すると、以下の応答メッセージが流れ着信が拒否されます。応答メッセージが流れている間はかけてきた相手に通話料がかかります。
 - 拒否メッセージ1：「この電話番号からの電話はお受けできません」
 - 拒否メッセージ2：「まことに申し訳ありませんが、ただいま都合により電話をお受けすることができません」
 - 公衆電話メッセージ：「公衆電話からの電話はお受けできません」
 - 非通知用メッセージ：「発信者番号通知がされておりません。電話番号の頭に186を付けておかけ直してください」
 - 無応答切断：着信拒否と同様の動作となり、かけてきた相手に接続できなかったことがアナウンスされます。
 - 留守メモ録音：簡易留守メモの応答メッセージが流れ自動応答します。
- ・M43「着信拒否」は割込通話サービスには対応していないため、通話中に電話がかかってくると、通常の着信動作になります。
- ・M43「着信拒否」と「簡易留守メモ」が同時に設定されている場合は、着信拒否が優先されます。

「指定番号」

- ・拒否番号リストに登録した電話から電話がかかっても、相手が電話番号を非通知にしてきた場合は、「非通知」の設定に従って動作します。
- ・お留守番サービスもしくは着信転送サービスの無応答転送を設定している場合は、「無応答切断」に設定してもお留守番サービスもしくは着信転送サービスに転送されます。

不在着信やメール受信を着信LEDでお知らせする

不在着信や新着メール、センターにEメールありの情報、緊急地震速報、更新番組の情報があったときに着信LEDを点滅させてお知らせするように設定できます（アクセスサイン）。

1 2 5 1

2 「ON」 / 「OFF」 ⇒

- ・M251「アクセスサイン」を「ON」に設定中に「お留守番サービス」または「着信転送サービス」の選択転送（ ⇒ 「着信転送」 ⇒ ）の操作を行っても着信LEDが点滅します。